

ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第11期

(決算日 2023年4月18日)

(作成対象期間 2022年10月19日～2023年4月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2750>
<2751>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2017年10月19日～2027年10月18日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録(上場予定および店頭登録予定を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)および不動産投資信託証券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
7期末(2021年4月19日)	13,733	1,400	22.6	17,462	21.1	90.0	—	2.7	1,817
8期末(2021年10月18日)	13,452	700	3.1	18,785	7.6	97.5	—	1.9	1,592
9期末(2022年4月18日)	12,400	0	△ 7.8	18,584	△ 1.1	99.7	—	1.9	1,147
10期末(2022年10月18日)	10,409	0	△ 16.1	15,693	△ 15.6	95.7	—	1.7	767
11期末(2023年4月18日)	11,493	40	10.8	17,869	13.9	95.0	—	2.0	692

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（配当込み、米ドルベース）は、S & P 500指数（配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

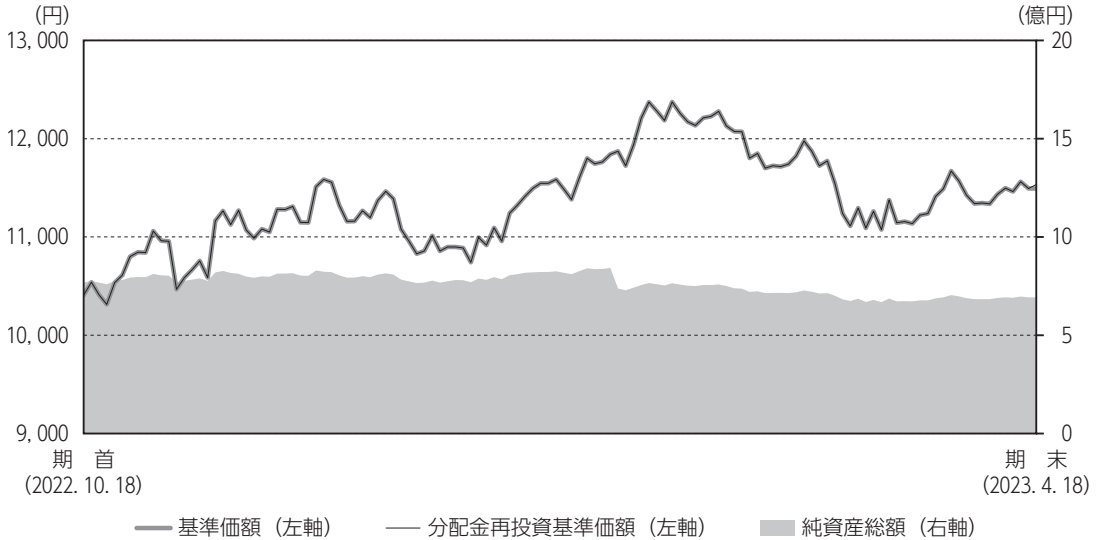
※参考指数を「S & P 500指数（米ドルベース）」から「S & P 500指数（配当込み、米ドルベース）」に変更しました。

S & P 500指数（配当込み、米ドルベース）はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数（配当込み、米ドルベース）のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：10,409円

期末：11,493円（分配金40円）

騰落率：10.8%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市場が上昇したことにより保有株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2022年10月18日	10,409	—	15,693	—	95.7	—	1.7
10月末	11,061	6.3	16,649	6.1	94.2	—	1.7
11月末	11,147	7.1	16,921	7.8	92.7	—	1.8
12月末	10,994	5.6	16,485	5.0	93.6	—	1.8
2023年1月末	11,725	12.6	17,225	9.8	95.7	—	1.9
2月末	11,725	12.6	17,101	9.0	95.7	—	1.9
3月末	11,489	10.4	17,425	11.0	94.4	—	1.8
(期末)2023年4月18日	11,533	10.8	17,869	13.9	95.0	—	2.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 10. 19 ～ 2023. 4. 18）

■米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首から2022年12月中旬にかけて、米国CPI（消費者物価指数）の伸び率が市場予想を下回り、インフレのピークアウト期待が高まったことなどを背景に上昇して始まりました。年末にかけては、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において政策金利見通しが引き上げられ、利上げ長期化懸念が強まったことから反落しましたが、2023年1月に入ると、米国雇用統計で賃金の伸び率が市場予想を下回ったことなどを受けて、利上げ幅が縮小されるとの期待が高まり上昇しました。3月には、米国の地方銀行の経営破綻による金融不安を受けて下落しましたが、米国金融当局が迅速な対応を行ったことから短期間で投資家心理は改善し、上昇に転じました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産については、為替変動リスク低減のため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

利上げの着地点と米国経済への影響度合いがより明確になるまで、金融市場のボラティリティは高止まりする可能性が高いとみています。欧州のエネルギー問題など複数の要因が世界のインフレ動向を左右しており、FRB（米国連邦準備制度理事会）はインフレ抑制と経済のソフトランディングを両立させるために難しい舵取りをしなければならないと考えます。現時点では、利上げにより米国経済が景気後退入りする可能性もあることから、財務が健全で強い競争力を持つ銘柄の発掘に注力する一方で、今後3-5年程度の中長期を見据え、生産拠点の国内回帰や遺伝子治療法の進展、代替エネルギーへの移行などの投資テーマにも注目していく方針です。

ポートフォリオについて

(2022. 10. 19 ~ 2023. 4. 18)

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行いました。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

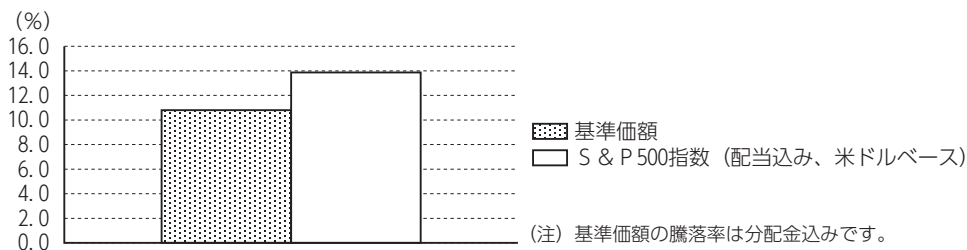
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、引き続き、長期的な成長が期待できる情報技術セクターやヘルスケア・セクターなどを中心としたポートフォリオを維持しました。ヘルスケア・セクターの比率を引き上げた一方で、銀行問題の発生を受けて金融セクターの保有比率を引き下げたほか、先行き不透明感の強い景気の影響を受けやすい一般消費財・サービスの保有比率を引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



当期
(2022. 10. 18 ~ 2023. 4. 18)

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年10月19日 ～2023年4月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	40
対基準価額比率	(%)	0.35
当期の収益	(円)	40
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,276

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	49.32円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		860.95
(d) 分配準備積立金		2,405.84
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		3,316.11
(f) 分配金		40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		3,276.11

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

経済成長ならびに企業業績への逆風が続いていることから、当面、株式市場では不安定な相場展開が継続するとみています。インフレ要因の一部は構造的なものであるため、利上げサイクル終了後も金利は高止まりする可能性があると考えます。利上げの影響が実態経済に浸透していくにつれて、経済活動の鈍化や企業収益の減速につながると予想されるほか、金融機関が融資に対して慎重な姿勢をとることも、経済成長を減速させる可能性があると考えます。

当ファンドは、当面リスクを抑え、良好なバランスシート、安定したフリーキャッシュフロー創出力、コストの上昇を価格転嫁できる強い競争力を持つ銘柄の発掘に注力していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 10. 19~2023. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	102円	0. 894%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 370円です。
（投 信 会 社）	(53)	(0. 466)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(47)	(0. 411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0. 008	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0. 008)	
（投 資 証 券）	(0)	(0. 000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0. 000)	
（投 資 証 券）	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	△12	△0. 103	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0. 017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(△14)	(△0. 122)	税金の取り消し、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	91	0. 800	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

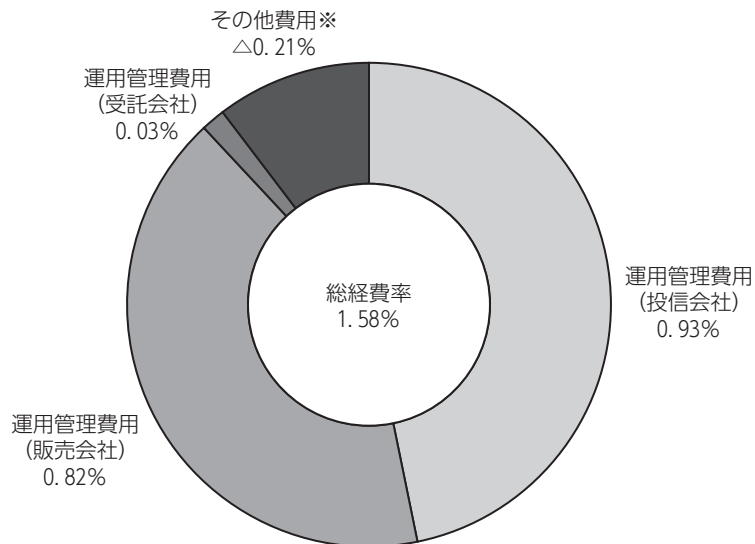
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

※その他費用は、税金の取り消しのため、マイナスの費用（収入）となっています。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2022年10月19日から2023年4月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	67,563	136,000	121,225	249,200

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2022年10月19日から2023年4月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,467,775千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,766,851千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.25

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	384,176	330,514	695,467

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	695,467	96.1
コール・ローン等、その他	28,279	3.9
投資信託財産総額	723,747	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝134.47円です。

（注3）ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（5,900,476千円）の投資信託財産総額（5,982,160千円）に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,411,324,300円
コール・ローン等	19,279,434
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	695,467,590
未収入金	696,577,276
(B) 負債	718,606,059
未払金	709,365,843
未払収益分配金	2,410,834
未払信託報酬	6,808,587
その他未払費用	20,795
(C) 純資産総額 (A - B)	692,718,241
元本	602,708,541
次期繰越損益金	90,009,700
(D) 受益権総口数	602,708,541口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,493円

* 期首における元本額は737,104,160円、当作成期間中における追加設定元本額は10,428,594円、同解約元本額は144,824,213円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,493円です。

■損益の状況

当期 自 2022年10月19日 至 2023年 4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,472円
受取利息	213
支払利息	△ 1,685
(B) 有価証券売買損益	74,166,836
売買益	167,843,425
売買損	△ 93,676,589
(C) 信託報酬等	△ 6,838,713
(D) 当期損益金 (A + B + C)	67,326,651
(E) 前期繰越損益金	△ 26,796,507
(F) 追加信託差損益金	51,890,390
(配当等相当額)	(45,498,629)
(売買損益相当額)	(6,391,761)
(G) 合計 (D + E + F)	92,420,534
(H) 収益分配金	△ 2,410,834
次期繰越損益金 (G + H)	90,009,700
追加信託差損益金	51,890,390
(配当等相当額)	(45,498,629)
(売買損益相当額)	(6,391,761)
分配準備積立金	145,564,034
繰越損益金	△ 107,444,724

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：1,894,922円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,972,773円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	51,890,390
(d) 分配準備積立金	145,002,095
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	199,865,258
(f) 分配金	2,410,834
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	197,454,424
(h) 受益権総口数	602,708,541口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	40円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
7期末(2021年4月19日)	13,661	1,500	26.8	16,793	24.8	91.0	—	2.7	7,842
8期末(2021年10月18日)	13,796	1,000	8.3	18,997	13.1	94.1	—	1.8	7,079
9期末(2022年4月18日)	13,993	100	2.2	20,836	9.7	95.7	—	1.8	6,413
10期末(2022年10月18日)	13,914	150	0.5	20,677	△ 0.8	94.1	—	1.7	5,509
11期末(2023年4月18日)	14,372	0	3.3	21,266	2.8	94.4	—	1.9	5,272

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（配当込み、円換算）は、S & P 500指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

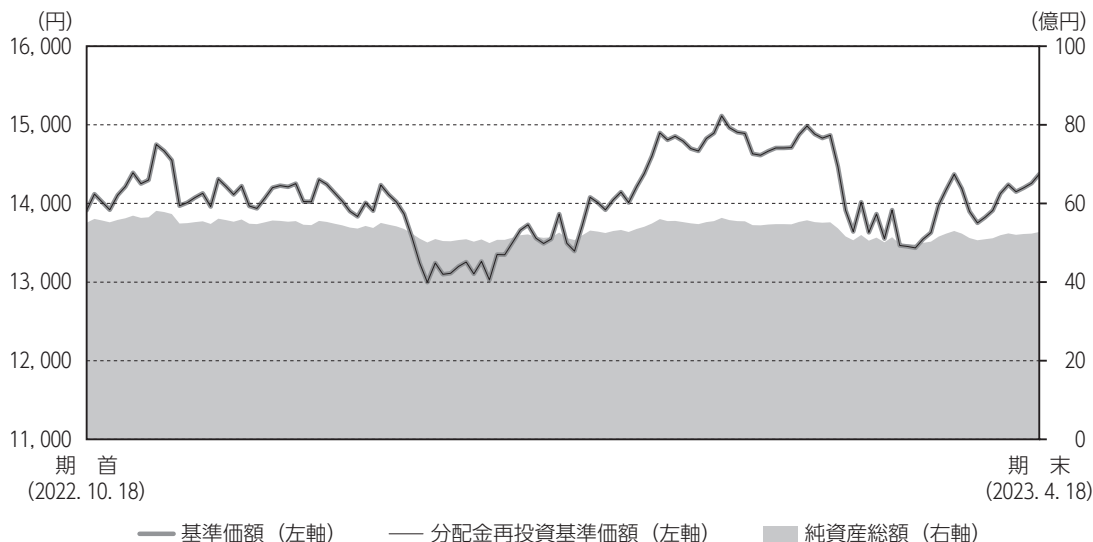
※参考指数を「S & P 500指数（円換算）」から「S & P 500指数（配当込み、円換算）」に変更しました。

S & P 500指数（配当込み、米ドルベース）はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数（配当込み、米ドルベース）のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：13,914円

期末：14,372円（分配金0円）

騰落率：3.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

為替相場において米ドルが対円で下落（円高）しましたが、米国中型株式市場が上昇したことにより保有株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2022年10月18日	13,914	—	20,677	—	94.1	—	1.7
10月末	14,748	6.0	21,846	5.7	94.1	—	1.7
11月末	14,021	0.8	20,797	0.6	92.9	—	1.8
12月末	13,264	△ 4.7	19,360	△ 6.4	93.3	—	1.8
2023年 1 月末	14,011	0.7	19,889	△ 3.8	93.5	—	1.8
2 月末	14,706	5.7	20,633	△ 0.2	94.3	—	1.9
3 月末	14,178	1.9	20,592	△ 0.4	94.6	—	1.8
(期末)2023年 4 月18日	14,372	3.3	21,266	2.8	94.4	—	1.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 10. 19 ～ 2023. 4. 18）

■米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首から2022年12月中旬にかけて、米国CPI（消費者物価指数）の伸び率が市場予想を下回り、インフレのピークアウト期待が高まったことなどを背景に上昇して始まりました。年末にかけては、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において政策金利見通しが引き上げられ、利上げ長期化懸念が強まったことから反落しましたが、2023年1月に入ると、米国雇用統計で賃金の伸び率が市場予想を下回ったことなどをを受けて、利上げ幅が縮小されるとの期待が高まり上昇しました。3月には、米国の地方銀行の経営破綻による金融不安を受けて下落しましたが、米国金融当局が迅速な対応を行ったことから短期間で投資家心理は改善し、上昇に転じました。

■為替相場

米ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2023年1月中旬にかけては、米国CPI（消費者物価指数）の内容を受けてインフレのピークアウト期待が高まり、長期を中心に米国金利が低下したことから、円高米ドル安が進行しました。日銀が国内長期金利の上限を引き上げる大規模緩和の修正を決定したことも円高要因となりました。1月下旬から当作成期末にかけては、方向感のない動きとなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

利上げの着地点と米国経済への影響度合いがより明確になるまで、金融市場のボラティリティは高止まりする可能性が高いとみています。欧州のエネルギー問題など複数の要因が世界のインフレ動向を左右しており、FRB（米国連邦準備制度理事会）はインフレ抑制と経済のソフトランディングを両立させるために難しい舵取りをしなければならないと考えます。現時点では、利上げにより米国経済が景気後退入りする可能性もあることから、財務が健全で強い競争力を持つ銘柄の発掘に注力する一方で、今後3-5年程度の中長期を見据え、生産拠点の国内回帰や遺伝子治療法の進展、代替エネルギーへの移行などの投資テーマにも注目していく方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 10. 19 ～ 2023. 4. 18）

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

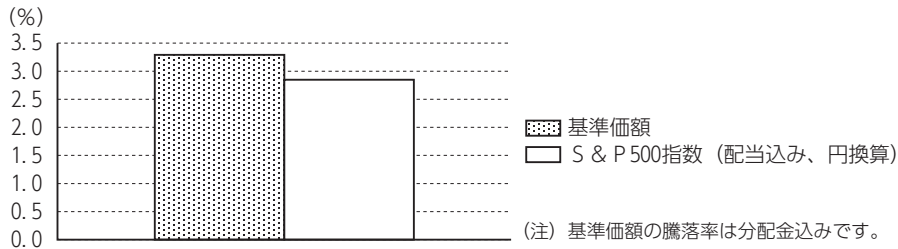
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、引き続き、長期的な成長が期待できる情報技術セクターやヘルスケア・セクターなどを中心としたポートフォリオを維持しました。ヘルスケア・セクターの比率を引き上げた一方で、銀行問題の発生を受けて金融セクターの保有比率を引き下げたほか、先行き不透明感の強い景気の影響を受けやすい一般消費財・サービスの保有比率を引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



当期
（2022. 10. 18～2023. 4. 18）

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年10月19日 ～2023年4月18日	
当期分配金（税込み） (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	4,409	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

経済成長ならびに企業業績への逆風が続いていることから、当面、株式市場では不安定な相場展開が継続するとみています。インフレ要因の一部は構造的なものであるため、利上げサイクル終了後も金利は高止まりする可能性があると考えます。利上げの影響が実態経済に浸透していくにつれて、経済活動の鈍化や企業収益の減速につながると予想されるほか、金融機関が融資に対して慎重な姿勢をとることも、経済成長を減速させる可能性があると考えます。

当ファンドは、当面リスクを抑え、良好なバランスシート、安定したフリーキャッシュフロー創出力、コストの上昇を価格転嫁できる強い競争力を持つ銘柄の発掘に注力していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 10. 19～2023. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	126円	0.894%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は14,079円です。
（投 信 会 社）	(66)	(0.466)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(58)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.009	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0.009)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	△14	△0.099	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(△17)	(△0.119)	税金の取り消し、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	113	0.804	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

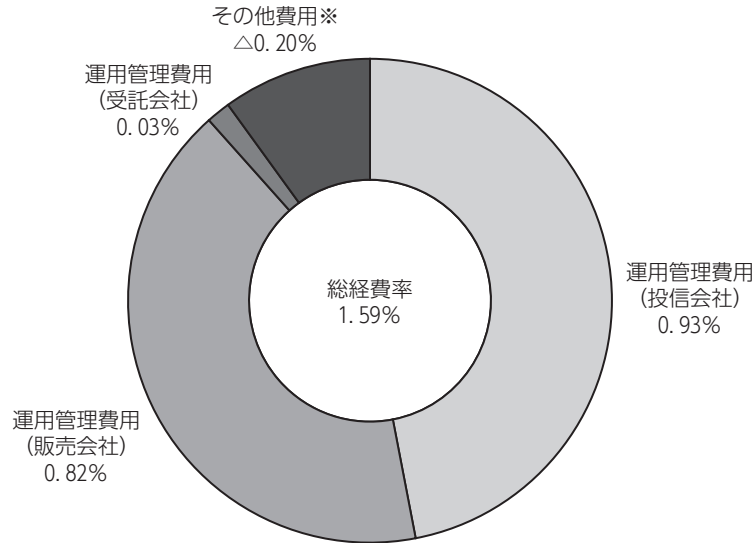
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

※その他費用は、税金の取り消しのため、マイナスの費用（収入）となっています。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2022年10月19日から2023年4月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	6,821	14,000	222,271	453,500

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2022年10月19日から2023年4月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,467,775千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,766,851千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.25

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	2,713,606	2,498,156	5,256,620			

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	5,256,620	98.6
コール・ローン等、その他	75,946	1.4
投資信託財産総額	5,332,567	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝134.47円です。

（注3）ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（5,900,476千円）の投資信託財産総額（5,982,160千円）に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,332,567,522円
コール・ローン等	54,946,556
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド（評価額）	5,256,620,966
未収入金	21,000,000
(B) 負債	60,366,738
未払解約金	12,420,126
未払信託報酬	47,800,077
その他未払費用	146,535
(C) 純資産総額 (A - B)	5,272,200,784
元本	3,668,366,921
次期繰越損益金	1,603,833,863
(D) 受益権総口数	3,668,366,921口
1万口当り基準価額 (C / D)	14,372円

* 期首における元本額は3,959,542,841円、当作成期間中における追加設定元本額は31,111,489円、同解約元本額は322,287,409円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は14,372円です。

■損益の状況

当期 自 2022年10月19日 至 2023年 4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 4,749円
受取利息	274
支払利息	△ 5,023
(B) 有価証券売買損益	215,573,632
売買益	228,438,671
売買損	△ 12,865,039
(C) 信託報酬等	△ 47,946,612
(D) 当期損益金 (A + B + C)	167,622,271
(E) 前期繰越損益金	1,194,568,289
(F) 追加信託差損益金	241,643,303
(配当等相当額)	(255,345,477)
(売買損益相当額)	(△ 13,702,174)
(G) 合計 (D + E + F)	1,603,833,863
次期繰越損益金 (G)	1,603,833,863
追加信託差損益金	241,643,303
(配当等相当額)	(255,345,477)
(売買損益相当額)	(△ 13,702,174)
分配準備積立金	1,362,190,560

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：13,321,150円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	19,104,720円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	148,517,551
(c) 収益調整金	255,345,477
(d) 分配準備積立金	1,194,568,289
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,617,536,037
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,617,536,037
(h) 受益権総口数	3,668,366,921口

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2023年4月18日)

(作成対象期間 2022年10月19日～2023年4月18日)

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

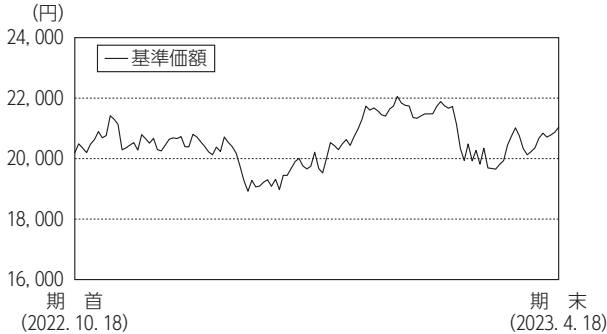
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



【運用経過】

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：20,190円 期末：21,042円 騰落率：4.2%

【基準価額の主な変動要因】

為替相場において米ドルが対円で下落（円高）しましたが、米国中型株式市場が上昇したことにより保有株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国中型株式市況

米国中型株式市場は上昇しました。

米国中型株式市場は、当作成期首から2022年12月中旬にかけて、米国CPI（消費者物価指数）の伸び率が市場予想を下回り、インフレのピークアウト期待が高まったことなどを背景に上昇してまいりました。年末にかけては、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において政策金利見通しが引き上げられ、利上げ長期化懸念が強まったことから反落しましたが、2023年1月に入ると、米国雇用統計で賃金の伸び率が市場予想を下回ったことを受けて、利上げ幅が縮小されるとの期待が高まり上昇しました。3月には、米国の地方銀行の経営破綻による金融不安を受けて下落しましたが、米国金融当局が迅速な対応を行ったことから短期間で投資家心理は改善し、上昇に転じました。

○為替相場

米ドルは対円で下落しました。

当作成期首から2023年1月中旬にかけては、米国CPI（消費者物価指数）の内容を受けてインフレのピークアウト期待が高まり、長期を中心に米国金利が低下したことから、円高米ドル安が進行しました。日銀が長期金利の上限を引き上げる大規模緩和の修正を決定したことも円高要因となりました。1月下旬から当作成期末にかけては、方向感のない動きとなりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

利上げの着地点と米国経済への影響度合いがより明確になるまで、金融市場のボラティリティは高止まりする可能性が高いとみています。欧州のエネルギー問題など複数の要因が世界のインフレ動向を左右しており、FRB（米国連邦準備制度理事会）はインフレ抑制と経済のソフトランディングを両立させるために難しい舵取りをしなければならぬと考えます。現時点では、利上げにより米国経済が景気後退入りする可能性もあることから、財務が健全で強い競争力を持つ銘柄の発掘に注力する一方で、今後3-5年程度の中長期を見据え、生産拠点の国内回帰や遺伝子治療法の進展、代替エネルギーへの移行などの投資テーマにも注目していく方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

株式組入比率は高位を維持しました。セクター別では、引き続き、長期的な成長が期待できる情報技術セクターやヘルスケア・セクターなどを中心としたポートフォリオを維持しました。ヘルスケア・セクターの比率を引き上げた一方で、銀行問題の発生を受けて金融セクターの保有比率を引き下げたほか、先行き不透明感の強い景気の影響を受けやすい一般消費財・サービスの保有比率を引き下げました。

年 月 日	基準価額		S & P 500指数 (配当込み、円換算)		株 式	株 式	投資証券	
	円	%	騰落率 (参考指数)	騰落率	組入比率	先物比率	組入比率	組入比率
(期首) 2022年10月18日	20,190	—	20,677	—	94.6	—	—	1.7
10月末	21,420	6.1	21,846	5.7	94.6	—	—	1.7
11月末	20,390	1.0	20,797	0.6	93.1	—	—	1.8
12月末	19,317	△ 4.3	19,360	△ 6.4	93.3	—	—	1.8
2023年1月末	20,436	1.2	19,889	△ 3.8	93.4	—	—	1.8
2月末	21,477	6.4	20,633	△ 0.2	94.3	—	—	1.9
3月末	20,738	2.7	20,592	△ 0.4	94.2	—	—	1.8
(期末) 2023年4月18日	21,042	4.2	21,266	2.8	94.6	—	—	1.9

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P 500指数（配当込み、円換算）は、S & P 500指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

※参考指数を「S & P 500指数（円換算）」から「S & P 500指数（配当込み、円換算）」に変更しました。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

経済成長ならびに企業業績への逆風が続いていることから、当面、株式市場では不安定な相場展開が継続するとみています。インフレ要因の一部は構造的なものであるため、利上げサイクル終了後も金利は高止まりする可能性があると考えます。利上げの影響が実態経済に浸透していくにつれて、経済活動の鈍化や企業収益の減速につながると予想されるほか、金融機関が融資に対して慎重な姿勢をとることも、経済成長を減速させる可能性があると考えます。

当ファンドは、当面リスクを抑え、良好なバランスシート、安定したフリーキャッシュフロー創出力、コストの上昇を価格転嫁できる強い競争力を持つ銘柄の発掘に注力していく方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期	
売買委託手数料		2円
(株式)	(2)
(投資証券)	(0)
有価証券取引税		0
(株式)	(0)
(投資証券)	(0)
その他費用	△	20
(保管費用)	(3)
(その他)	(△	24)
合 計	△	18

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1)株 式

(2022年10月19日から2023年4月18日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
アメリカ	469.11	3,543	837.52	7,338
	((△		
	1)	13)		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資証券

(2022年10月19日から2023年4月18日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
アメリカ	0.304	28	0.277	28
	((((
	1)	1)	1)	1)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1) 株式

(2022年10月19日から2023年4月18日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
TFI INTERNATIONAL INC (カナダ)	3.83	54,182	14,146	LPL FINANCIAL HOLDINGS INC (アメリカ)	3.503	123,984	35,393
ARGENX SE - ADR (オランダ)	0.905	46,451	51,327	TE CONNECTIVITY LTD (スイス)	5.266	89,738	17,041
TRANSUNION (アメリカ)	5.369	43,136	8,034	NATIONAL INSTRUMENTS CORP (アメリカ)	12.012	84,431	7,028
TELEFLEX INC (アメリカ)	0.873	27,512	31,515	ON SEMICONDUCTOR CORP (アメリカ)	5.717	61,759	10,802
CLEAN HARBORS INC (アメリカ)	1.383	25,240	18,250	AON PLC-CLASS A (アイルランド)	1.465	59,593	40,678
NXP SEMICONDUCTORS NV (オランダ)	1.03	21,914	21,276	NEUROCRINE BIOSCIENCES INC (アメリカ)	3.218	51,818	16,102
AVANTOR INC (アメリカ)	6.259	20,269	3,238	WR BERKLEY CORP (アメリカ)	4.65	46,665	10,035
CATALENT INC (アメリカ)	3.208	19,669	6,131	KLA CORP (アメリカ)	0.892	46,027	51,600
CORTEVA INC (アメリカ)	2.321	19,407	8,361	HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC (アメリカ)	1.328	32,417	24,410
DOLLAR TREE INC (アメリカ)	0.685	13,108	19,136	CBOE GLOBAL MARKETS INC (アメリカ)	1.758	31,171	17,731

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2022年10月19日から2023年4月18日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
LAMAR ADVERTISING CO-A (アメリカ)	0.304	3,783	12,446	LAMAR ADVERTISING CO-A (アメリカ)	0.277	3,752	13,547

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	株数	当 株数	期 末		業種等
			評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO	47.13	49.79	727	97,784	資本財・サービス
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	65.81	66.04	383	51,541	金融
WR BERKLEY CORP	208.85	164.07	1,025	137,890	金融
DOLLAR TREE INC	13.53	19.77	289	38,994	生活必需品
DENTSPLY SIRONA INC	110.65	118.51	484	65,202	ヘルスケア
ALLIANT ENERGY CORP	61.09	65.42	357	48,137	公益事業
TE CONNECTIVITY LTD	116.19	67.84	859	115,617	情報技術
MSCI INC	5.07	3.75	201	27,107	金融
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	216.81	217.52	1,256	168,918	資本財・サービス
ARAMARK	190.64	191.3	681	91,680	一般消費財・サービス
CBOE GLOBAL MARKETS INC	40.98	24.07	331	44,520	金融
GLOBAL PAYMENTS INC	49.73	43.9	481	64,787	金融

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
BURLINGTON STORES INC	20.89	12.07	226	30,490	一般消費財・サービス
TELEFLEX INC	39.83	47.18	1,229	165,364	ヘルスケア
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	69.83	56.55	998	134,329	資本財・サービス
CATALENT INC	68.78	97.57	443	59,605	ヘルスケア
CLEAN HARBORS INC	—	13.83	198	26,651	資本財・サービス
WEX INC	71.81	72.05	1,375	184,964	金融
NATIONAL INSTRUMENTS CORP	201.92	89.29	519	69,843	情報技術
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	80.18	46.89	957	128,810	金融
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	32.18	—	—	—	ヘルスケア
AMDOCS LTD	165.59	166.14	1,597	214,762	情報技術
CIMPRESS PLC	68.63	66.4	301	40,492	資本財・サービス
ICU MEDICAL INC	33.3	33.41	582	78,347	ヘルスケア
REGAL REXNORD CORP	11.11	10.77	143	19,339	資本財・サービス
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	38.81	38.94	788	106,034	資本財・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV	37.35	46.1	804	108,179	情報技術
LIBERTY MEDIA CORP-LIBERTY-C	135.81	146.78	1,081	145,386	コミュニケーション・サービス
LIBERTY MEDIA CORP-LIBERTY-A	—	3.73	24	3,329	コミュニケーション・サービス
ZIFF DAVIS INC	34.87	34.99	270	36,389	コミュニケーション・サービス
SAREPTA THERAPEUTICS INC	28.89	17.54	219	29,532	ヘルスケア
KLA CORP	17.2	8.28	308	41,431	情報技術
LAM RESEARCH CORP	6.86	6.64	327	43,988	情報技術
ATLISSIAN CORP PLC-CLASS A	17.67	10.78	179	24,124	情報技術
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	57.36	57.56	541	72,826	資本財・サービス
NICE LTD - SPON ADR	35.45	35.26	789	106,183	情報技術
RITCHIE BROS AUCTIONEERS	83.36	70.32	413	55,619	資本財・サービス
GILDAN ACTIVEWEAR INC	190.3	190.92	606	81,511	一般消費財・サービス
WAYFAIR INC- CLASS A	28.21	6.65	23	3,187	一般消費財・サービス
TRANSUNION	—	53.69	340	45,794	資本財・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	151.11	151.61	1,221	164,196	情報技術
ASCENDIS PHARMA A/S - ADR	27.25	27.34	226	30,425	ヘルスケア
GODADDY INC - CLASS A	153.99	154.52	1,189	159,992	情報技術
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	181.91	113.67	108	14,597	ヘルスケア
FRONTDOOR INC	114.27	110.56	302	40,661	一般消費財・サービス
ARGENX SE - ADR	—	8.87	340	45,794	ヘルスケア
STERIS PLC	30.74	28.65	539	72,482	ヘルスケア
INGERSOLL-RAND INC	169.74	174.76	980	131,787	資本財・サービス
CERIDIAN HCM HOLDING INC	98.82	99.15	681	91,662	情報技術
CORTEVA INC	58.16	79.41	498	67,027	素材
PERKINELMER INC	40.47	40.61	552	74,239	ヘルスケア
AVANTOR INC	209.46	264.62	560	75,401	ヘルスケア
DYNATRACE INC	76.27	76.52	326	43,885	情報技術
ABCAM PLC-SPON ADR	79.7	79.97	127	17,162	ヘルスケア
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	256.74	257.59	1,219	163,976	資本財・サービス
ON SEMICONDUCTOR CORP	309.29	263.12	2,063	277,428	情報技術
UPWORK INC	47.23	—	—	—	資本財・サービス
WABTEC CORP	83.97	84.25	843	113,370	資本財・サービス
WATERS CORP	9.71	8.71	269	36,261	ヘルスケア
FERGUSON PLC	52.68	52.85	694	93,347	資本財・サービス
RENTOKIL INITIAL ADS EACH REPRESENT	22.01	22.09	82	11,047	資本財・サービス

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
TFI INTERNATIONAL INC	—	37.21	433	58,342	資本財・サービス	
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	22.63	23.3	1,020	137,266	情報技術	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	46.85	38.02	381	51,278	ヘルスケア	
AON PLC-CLASS A	14.65	—	—	—	金融	
SCHWAB (CHARLES) CORP	35.51	34.35	181	24,374	金融	
FLEX LTD	506.13	507.83	1,097	147,570	情報技術	
ILLUMINA INC	14.1	14.14	325	43,726	ヘルスケア	
SEALED AIR CORP	104.07	70.29	332	44,669	素材	
CARMAX INC	97.49	97.82	680	91,550	一般消費財・サービス	
COOPER COS INC/THE	18.42	14.28	530	71,332	ヘルスケア	
BOSTON SCIENTIFIC CORP	320.34	283.88	1,468	197,508	ヘルスケア	
VISTEON CORP	20.19	15.86	238	32,116	一般消費財・サービス	
ファンド合計	株数、金額	6,076.57	5,708.16	41,891	5,633,191	
	銘柄数<比率>	68銘柄	70銘柄		<94.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国投資証券

銘柄	株数	株数	期末		
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千口	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
LAMAR ADVERTISING CO-A	8.196	8.223	861	115,849	
合計	口数、金額	8.196	8.223	861	115,849
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄		<1.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

■投資信託財産の構成

2023年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	5,633,191 千円	94.2 %
投資証券	115,849	1.9
コール・ローン等、その他	233,120	3.9
投資信託財産総額	5,982,160	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝134.47円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(5,900,476千円)の投資信託財産総額(5,982,160千円)に対する比率は、98.6%です。

■損益の状況

当期 自 2022年10月19日 至 2023年4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	28,645,670円
受取配当金	25,026,627
受取利息	3,628,132
支払利息	△ 9,089
(B) 有価証券売買損益	215,887,118
売買益	959,286,397
売買損	△ 743,399,279
(C) その他費用	6,041,237
(D) 当期損益金 (A + B + C)	250,574,025
(E) 前期繰越損益金	3,156,503,521
(F) 解約差損益金	△ 359,202,204
(G) 追加信託差損益金	75,615,043
(H) 合計 (D + E + F + G)	3,123,490,385
次期繰越損益金 (H)	3,123,490,385

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,982,160,928円
コール・ローン等	231,372,295
株式 (評価額)	5,633,191,724
投資証券 (評価額)	115,849,093
未取配当金	1,747,816
(B) 負債	30,000,000
未払解約金	30,000,000
(C) 純資産総額 (A - B)	5,952,160,928
元本	2,828,670,543
次期繰越損益金	3,123,490,385
(D) 受益権総口数	2,828,670,543口
1万口当り基準価額 (C / D)	21,042円

* 期首における元本額は3,097,783,382円、当作成期間中における追加設定元本額は74,384,957円、同解約元本額は343,497,796円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド (為替ヘッジあり) 330,514,015円
ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド (為替ヘッジなし) 2,498,156,528円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は21,042円です。

S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 ([SPDJ]) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 ([S & P]) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC ([Dow Jones]) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。